

KUMAMOTO URBAN SPORTS FES 2025

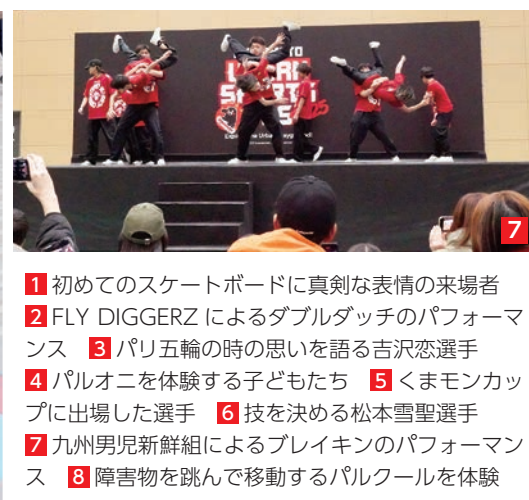
©2010 kumamoto pref.kumamon



2月22日・23日にかけて、KUMAMOTO URBAN SPORTSFES 2025が総合体育館で開催されました。このイベントは、スケートボードやブレイキンなどのアーバンスポーツの機運醸成を目的に県が開催したもので、町内外から約5千人が来場。

会場では、スケートボードやパルクール、パルクールとおにごっこを融合させた「パルオニ」、ダブルダッチ、ブレイキン（ブレイクダンス）などの体験が行われ、多くの人がアーバンスポーツを楽しみました。

両日開催されたスケートボードの大会「くまモンカップ」では、世界大会でも活躍する氷川町在住の松本雪聖選手やパリオリンピックで金メダルを獲得した吉沢恋選手などをはじめ、多くの参加者がスケートボードの技を競いました。



1 初めてのスケートボードに真剣な表情の来場者
2 FLY DIGGERZ によるダブルダッチのパフォーマンス
3 パリ五輪の時の思いを語る吉沢恋選手
4 パルオニを体験する子どもたち
5 くまモンカップに出場した選手
6 技を決める松本雪聖選手
7 九州男児新鮮組によるブレイキンのパフォーマンス
8 障害物を跳んで移動するパルクールを体験

アーバンスポーツ施設の名称が決定！ くまモンアーバンスポーツパーク



2月22日、KUMAMOTO URBAN SPORTSFES 2025のオープニングセレモニーで、令和8年春に開業するアーバンスポーツ施設の名称を発表しました。施設名は「くまモンアーバンスポーツパーク」。

吉本町長は「将来、菊陽町がアーバンスポーツの聖地となり、菊陽町そして熊本県からオリンピック選手が誕生する、そのような夢の実現に向けて取り組みを進めていきたい」とあいさつしました。

くまモンアーバンスポーツパークとは？



現在、町が菊陽杉並木公園を拡張し整備を進めている、令和8年春開業予定のアーバンスポーツ施設です。スケートボードの世界大会や国内大会が誘致可能な、西日本最大級のアーバンスポーツ施設となります。スケートボードは、中・上級者向けの「ストリートエリア」「パークエリア」と、初心者や小さな子どもたちも楽しめる「フラットエリア」に分けて整備。BMXなどのスケートボード以外のス

ポーツが楽しめる「多目的エリア」や、バスケット「3×3エリア」も整備予定です。

また、施設全体を、県が進める「くまモンランド化構想」の一つの拠点として、くまモンをイメージするイラストおよびデザインとします。

県と町は、令和6年3月に「アーバンスポーツの推進に関する連携協定」を締結しており、今後、連携して機運醸成や大会誘致、競技レベルの向上などに取り組んでいきます。